

立命館中学校・高等学校の教育

新しい価値を創造し、未来に貢献する人を育てる学校

立命館学園が一体となった一貫教育体制のもと、将来をみすえて一人ひとりの可能性を伸ばす独自の教育を実践し、高い学力と豊かな人間性を備え、将来の社会に貢献できる自立した人を育てることをめざします。

長岡京キャンパス移転・開校により、高い理想、大きな夢がかなう場所として、更なる教育の充実を図ります。

多様な進路を拓く立命館の一貫教育



小学校から中学、高校、大学、そして大学院へとつながる立命館の一貫教育。体系的な指導方針のもと、基礎をしっかりと培い、早い段階から高度な学習や大学と連携した学びを経験することで、高い学力を養います。

立命館中学校・高等学校は、立命館小学校と接続し 12 年間の一貫教育による確かな学力と豊かな人間性、自立・貢献の精神を育てる教育を展開しています。

小学 1 年生から 4 年生までをファーストステージ、小学 5 年生から中学 2 年生までをセカンドステージ、中学 3 年生から高校 3 年生までをサードステージとし、その発達段階に応じて 4 年間ごとにカリキュラムの区切りを設け、将来の進路目標を立て、夢実現に向けて自ら学ぶ姿勢を育んできています。 中学校・高等学校の 6 年間においても、中学 1 年・2 年をセカンドステージ後期、中学 3 年・高校 1 年をサードステージ前期、高校 2 年・3 年をサードステージ後期と位置づけて、それぞれに到達目標を設定し、特色ある教育活動を展開しています。

Ritsumeikan Pride

～Creative Learners が育つ未来型思考への挑戦～



【どのような力を育てるか】

①学習者主体の授業を行い、社会に通用する力を育む。

- ・課題解決力
 - ・コミュニケーション力
 - ・ICT 活用力
 - ・アウトプット能力
- アクティブラーニング (AL) 型授業の実践

②未来型思考を育成し、自ら学ぶ意欲を育む。

- ・自主・自立
 - ・他者無形に対する価値観
- セルフマネジメント力の向上

③色々な世界をつなぎ、新しいものを生み出す力を育む。

- ・創造力
 - ・国際感覚
 - ・Beyond Borders
- 課題研究 (PBL 型学習) の進化・発展
SSH,SGH の取組の発信と共有

【三本の柱】

Learner-centered

- ・AL に対する正しい認識
- ・AL を学ぶ学習の場
- ・パフォーマンス課題への挑戦

未来型思考

- ・セルフマネジメントの思考法の理解
- ・内発的動機による自立的な行動

世界をつなぐ

- ・課題研究の仕組み作り
- ・SSH,SGH の取組の発信と共有

【土台】

生活習慣

- 時を守り、場を整え、礼を尽くす
- ・期日を守る
- ・清掃活動
- ・挨拶

特別活動

- 自主・自立
- ・生徒会活動の充実
- ・行事の自治運営
- ・奉仕活動

家庭教育

- 信頼・連携
- ・教育方針の共通理解
- ・信頼の構築
- ・学校との役割分担

長岡京を愛し、長岡京から愛される立命館へ！



日 程 :

(講師等の皆さまのお名前について、敬称略とさせていただいております。)

11月 20日 (金)

時 間	内 容	場 所																																								
9:30 ~	受付																																									
10:00 ~ 10:30	開会行事 連盟会長挨拶・開催校挨拶	清和会記念ホール																																								
10:50 ~ 11:40	研究授業 <table> <thead> <tr> <th>教科</th><th>授業担当者</th><th>担当クラス(人数)</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 国語</td><td>内田 剛</td><td>G12-3(42)</td><td>329 教室</td></tr> <tr> <td>○ 社会 (歴史) (地理)</td><td>田中 京平 加藤 敦史</td><td>G10-1(41) G7-6(21)</td><td>G9-3 HR G9-4 HR</td></tr> <tr> <td>○ 数学</td><td>鳥島 裕之</td><td>G11-7(38)</td><td>G9-7 HR</td></tr> <tr> <td></td><td>越智 規子</td><td>G7-5(20)</td><td>G9-5 HR</td></tr> <tr> <td>○ 理科 (物理)</td><td>栗木 久</td><td>G11-4(33)</td><td>G9-2 HR</td></tr> <tr> <td>○ 英語</td><td>武田 菜々子</td><td>G12-6(35)</td><td>G9-8 HR</td></tr> <tr> <td></td><td>松尾 由紀、Wesley Armstrong</td><td>G8-6(21)</td><td>G9-6 HR</td></tr> <tr> <td>○ 芸術 (美術)</td><td>米永 忠裕</td><td>G7-7(33)</td><td>美術教室 2</td></tr> <tr> <td>○ 保健体育</td><td>中村 圭吾</td><td>G8-1,3,5,7 男子</td><td>第 1 アリーナ</td></tr> </tbody> </table>	教科	授業担当者	担当クラス(人数)		○ 国語	内田 剛	G12-3(42)	329 教室	○ 社会 (歴史) (地理)	田中 京平 加藤 敦史	G10-1(41) G7-6(21)	G9-3 HR G9-4 HR	○ 数学	鳥島 裕之	G11-7(38)	G9-7 HR		越智 規子	G7-5(20)	G9-5 HR	○ 理科 (物理)	栗木 久	G11-4(33)	G9-2 HR	○ 英語	武田 菜々子	G12-6(35)	G9-8 HR		松尾 由紀、Wesley Armstrong	G8-6(21)	G9-6 HR	○ 芸術 (美術)	米永 忠裕	G7-7(33)	美術教室 2	○ 保健体育	中村 圭吾	G8-1,3,5,7 男子	第 1 アリーナ	
教科	授業担当者	担当クラス(人数)																																								
○ 国語	内田 剛	G12-3(42)	329 教室																																							
○ 社会 (歴史) (地理)	田中 京平 加藤 敦史	G10-1(41) G7-6(21)	G9-3 HR G9-4 HR																																							
○ 数学	鳥島 裕之	G11-7(38)	G9-7 HR																																							
	越智 規子	G7-5(20)	G9-5 HR																																							
○ 理科 (物理)	栗木 久	G11-4(33)	G9-2 HR																																							
○ 英語	武田 菜々子	G12-6(35)	G9-8 HR																																							
	松尾 由紀、Wesley Armstrong	G8-6(21)	G9-6 HR																																							
○ 芸術 (美術)	米永 忠裕	G7-7(33)	美術教室 2																																							
○ 保健体育	中村 圭吾	G8-1,3,5,7 男子	第 1 アリーナ																																							
11:45 ~ 13:00	昼食・休憩 当日、教室棟 5 階 瑞兆軒 にて、呈茶をおこないます。 椅子席もご用意しておりますので、お気軽に茶席にご来場下さい。 (11:50 ~ 本研究教育集会実施連盟 総会 於 瑞兆軒)	カフェテリア 瑞兆軒																																								
13:00 ~ 14:00	特別記念講演 堀場 厚 (株式会社堀場製作所 代表取締役会長兼社長) 「京都の企業は、なぜ独創的で、グローバルなのか?」 <ご略歴> 1948 年 京都市生まれ。甲南大学理学部卒業、カリフォルニア大学大学院工学部電子工学科修了。1972 年 堀場製作所入社。海外本部長、専務などを経て、1992 年に社長就任、2005 年より会長兼務。 2003 年～2007 年 京都経済同友会代表幹事に就任(現在特別幹事)、2010 年より京都商工会議所副会頭に就任するなど、精力的に京都経済界を牽引。 また、海外においても M&A により買収したフランス企業(2 社)の財務状況を健全化に導いた実績や、日仏両国の技術・人財を融合させる先進的な経営、また試薬生産拠点の拡張による雇用創出などが評価され、フランス政府より、1998 年に「国家功労章」を、2010 年に「レジオン・ド ヌール勲章」を受章。 一方、早くから初等中等教育の重要性に着目し、人づくり 21 世紀委員会顧問、京都「おやじの会」連絡会顧問等を務める。2007 年には、産官学が連携し、地域も含めて、子どもたちの未来をともに考え、京都から新たな教育像を発信することを目的とする「京都教育懇話会」を各界代表者と設立し、会長に就任。	清和会記念ホール																																								
14:00 ~ 14:20	研究テーマ解説 ※ 「Creative Learners が育つ未来型思考への挑戦」についての解説 立命館中学校・高等学校総務部長 小笠 大道	清和会記念ホール																																								
	休憩・移動																																									

14:30 ~ 15:20	各教科授業研究会 ※ 午前中の授業について、授業者からのコメントと参加者からの助言	研究授業を行った教室で行います。保健体育は228教室で行います。
	休憩・移動	
15:30 ~ 17:30	分科会（下記のテーマによる分科会） (A1) 小中高一貫教育のグランドデザイン（12年間の教育像） 立命館小学校・中学校・高等学校校長 成山 治彦	会場 3階 大会議室
	(A2) 立命館小学校のICTとモジュール体験（ワークショップ） 立命館小学校教諭 六車 陽一 立命館小学校教諭 岩崎 純子	4階 5-R、5-I教室
	(A3) 課題研究の取組みに学ぶ ○基調講演 大谷大学文学部教授 元京都市立堀川高等学校校長 荒瀬 克己 ○立命館高等学校での実践 立命館中学校・高等学校副校長 蔭山 成利	1階 メディアラボ1
	(A4) 高大連携の取組み ○立命館学園における高大連携・高大接続教育方針 学校法人立命館一貫教育部副部長 大西 智文 ○立命館大学と附属校の「法教育」の取り組み 立命館中学校・高等学校教諭 加賀山 万理子	1階 メディアラボ3
	(A5) 次世代の科学教育を目指して ～SSHの取り組みから見えてくるもの～ ○基調講演 中部大学超伝導・持続可能エネルギー研究センター 教授 井上 徳之 ○名城大学附属高等学校での実践 名城大学附属高等学校教頭 岩崎 政次 ○立命館高等学校での実践 立命館中学校・高等学校 SSH推進機構長 鳥島 裕之 ○科学教育、私学が果たす役割 学校法人立命館一貫教育部部長 田中 博	1階 アクティブラーニングラボ
	(A6) これからの中学校が目指すべき姿（英語教育を中心に） ○基調講演 文部科学省初等中等教育局視学官 太田 光春 ○立命館宇治高等学校での実践（IB、SGH） 立命館宇治中学校・高等学校国際主幹 平田 敏之	1階 フレセントーションルーム
	※ 事前にアンケートで聞かせていただいた第1希望の分科会にご参加ください。	
	移動	
17:45 ~ 19:30	懇親会	カフェテリア

11月 21日（土）

時 間	内 容	場 所
9:00～	受付	
9:30～10:45	Active Learning ワークショップ（分散会） (B1) 小中一貫教育で目指すもの～法制化後の具体的実践論～ 文部科学省初等中等教育局教育制度改革室室長補佐 武藤 久慶	会場 1階 プレゼンテーションルーム
	(B2) 教育現場におけるプレゼンテーションの極意 エバンジェリスト・日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員 西脇 資哲	2階 小ホール
	(B3) 求められる学力とその指導・評価 京都大学大学院教育学研究科准教授 石井 英真	3階 大会議室
	(B4) ICT を活用した英語教育のあり方 「ICT をインフラとして使う大学英語授業 ～プロジェクト発信型英語プログラム挑戦の軌跡～」 立命館大学生命科学部准教授 木村 修平	1階 アクティブラーニングラボ
	※ 事前にアンケートで聞かせていただいた第1希望の分散会にご参加ください。	
	移動	
11:00～12:15	生徒発表 ※ 2階センターアトリウムにて、 ① SSH・SGH のポスターセッション ② 生徒作成のポスター掲示 ③ 生徒作成の映像放映	2階 センターアトリウム
11:20～12:00	※ 1階センターフォーラムにて、 11:20より以下の生徒ステージ発表 ① 学校生活におけるセルフ・マネジメントの実践発表 ② Japan Super Science Fairでの研究成果発表 ③ Ritsumeikan Volunteer Information Office の活動報告 ④ プロダクトデザイン（地域連携）の活動報告	1階 センターフォーラム
12:20～12:40	全体会 ① 各教科授業研究会のまとめ ② 各分科会のまとめ ③ 意見交換・交流	清和会記念ホール
12:40～12:45	閉会行事・事務連絡	

(講師等の皆さまのお名前について、敬称略とさせていただいております。)

研究授業 11月20日(金) 10:50~11:40

- 国語科 (Grade12) 教室棟3階329教室 担当者：内田 剛
夏休みの課題で読んだ夏目漱石の『こころ』について、班で分析した『こころ』の疑問点を発表します。高校の最終段階として、疑問点を分析する「思考の枠組み」の妥当性から検討し、さらに他の生徒との質疑応答を通して分析を深める活動を行います。
- 社会科 (Grade10) 教室棟2階G9-3HR教室 担当者：田中 京平
第一次大戦後の各国情勢、ヴェルサイユ体制をおさえながら、18歳選挙が近づいている高1生に「君がこの時代にいたらヒトラーを支持するか」とドイツ国民の立場に立って考えさせたいと思います。ヒトラー誕生にはこの時代なりの整合性があつたこと、未来を見通す知性なき民主主義は時に失敗することを、生徒の意見を引き出しながら1時間を通して学ばせたいと思います。
- 社会科 (Grade7) 教室棟2階G9-4HR教室 担当者：加藤 敏史
地域とは何かをさまざまな視点で考察します。中学・高校までは生活圏が限られ、住んでいる地域が絶対的なものとなります。ボーダーの向こうには新しい世界（地域）があり、その地域も時代とともに変化をします。この授業では行政の地域区分の変化や文化的な地域区分についても学び、そして生徒による新たな地域区分を提案したいと思います。
- 数学科 (Grade11) 教室棟2階G9-7HR教室 担当者：鳥島 裕之
対数の性質を利用した演習問題に取り組みます。問題演習では、ジグソー法を用いたグループによる解説・演習の授業を取り組んでいます。事前に指定した問題について生徒がグループごとに解説を行い、その演習結果を更に深める問題を教員側から提示することで理解を深めさせることをねらいいます。
- 数学科 (Grade7) 教室棟2階G9-5HR教室 担当者：越智 規子
立命館小学校出身の生徒は、一人1台タブレットを持っています。それを使って、1次関数の応用問題を扱います。特別にタブレットを使う時間として1時間中使い続けるのではなく、通常の授業の中でタブレットを利用している様子を見ていただければと思っています。今回の授業では、ロイロノートを使用します。
- 理科 (Grade8) 教室棟2階G9-2HR教室 担当者：栗木 久
物理基礎の第2部「波とエネルギー」の導入である第1節「波の伝わり方」を学習します。パワーポイントで波を見る場合の基本的な視点を説明した後、2人から4人のグループで問題演習を行います。最後に確認テストとリフレクションカードの記入により、振り返りを行います。
- 英語科 (Grade12) 教室棟2階G9-8HR教室 担当者：武田 菜々子
「科学課題研究の内容を高いレベルの英語で発表し、その後の質疑応答に十分に対応できる」ことを3年間の到達点とし、授業を行ってきました。50分で科学関連のトピックの英文を聞き→読み→考え→話し→発表し→書く、という一連の活動の中で生徒たちの発表力、論理的思考力、即興での質疑応答力を鍛えていきます。
- 英語科 (Grade8) 教室棟2階G9-6HR教室 担当者：松尾由紀・Wesley Armstrong
「沖縄文化」をテーマに様々な種類の発話活動を取り入れたアウトプット重視の授業を行います。All in Englishの授業で、読む・聴くのインプット量以上のアウトプットを目指し、生徒の積極的な英語での発話を促していく形で授業を進めていきます。
- 美術科 (Grade7) 教室棟1階美術教室2 担当者：米永 忠裕
ポスター制作の1回目の導入の授業となります。視覚的効果を生かしてテーマやメッセージを伝えることの出来るポスターを用いて、中学1年生の自己のテーマやメッセージの発信を追求していきます。
- 保健体育科 (Grade8) 体育棟2階第1アリーナ 担当者：中村 圭吾
バスケットボールを教材とし、「チーム力をあげる」というミッションに対して、「誰でもシュートが打てる」「いい声がかけられる」「みんなが動ける」「戦術を理解し、実行できる」という具体的目標を目指し、シュートやパスのスキルを高め、良い試合になるようにチーム練習や試合を実践する授業を行います。